

# 中小企業タイムズ

## 2月号

2014年  
第687/262号  
(毎月1日発行)

### 今月の見どころ

- 中小企業団体新春交流会を開催! ..... 1面
- 組合活動をご紹介 ..... 4面
- 中小企業の労働実態を取りまとめ ..... 6面
- 女性経営者と学生との交流会を開催 ..... 8面

定価100円  
昭和36年4月10日  
第三種郵便物認可  
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

### 1月の出来事

#### ● 時事

- 1日 日本の人口 過去最多24万人減
- 3日 東京有楽町で火災、帰省客ら約32万人に影響
- 16日 浜松で児童905人欠席、ノロウイルス
- 17日 2013年訪日外国人1036万人、過去最高

#### ● 山梨県中央会ニュース

- 10日 第9回正副会長会議
- 第17回中小企業団体新春交流会

### 2月の予定

- 7日 労務改善団体連合会新春講演会・交流会
- 14日 事務連絡協議会新春ボウリング大会及び新春交流会
- 26日 正副会長会議

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216  
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

# 活動テーマは 実践躬行

じっ せん きゅう こう



今年の抱負を述べる内藤会長

本年の活動テーマを『実践躬行(じっせんきゅうこう)』とした。景気が回復基調にあるとはいえ、中小企業にとってはまだまだ先が見通せない状況にある。中小企業も着実に成長するためには、まさに今が行動を起こす時だと感じている。本会は、これまで互いの経営資源を補完し共同の力を発揮しあう中小企業連携組織の活用こそが重要であるとの認識から、中小企業連携組織対策事業を重点的に推進してきたところである。本年は、それに加え山梨県の6次産業化推進に向けた育成支援事業やものづくり事業を積極的に推進して、中小企業の発展を目指して力強く支援を行う。」と述べた。



懇親会での様子

本会は、1月11日(金)アピオ甲府において、新春交流会を開催した。17回目となる今年は、中小企業組合関係者らを中心に約600名の参加者があり、相互の交流と懇親を深めた。

式典は、国歌「君が代」斉唱で始まり、松葉惇副会長が開式のことばを述べた後、内藤悦次会長が主催者あいさつとして「昨年は、いわゆるアベノミクス効果により、輸出企業を中心とした大企業の業績が急回復し、企業や個人の内外需が共に支える形で、経済が回復基調に転じた年であった。本県においても富士山の世界遺産登録、リニア実験線の延伸工事の完成と開業に向けた実験走行の再開、東京五輪の開催決定、さらにジェットロ山梨貿易情報センターの開設など山梨県経済の活性化を牽引しそうな大きな出来事が集中した年でもあった。私もこれを好機と捉え、理屈よりもまずは実行することだと考え、本年の活動テーマを『実践躬行(じっせんきゅうこう)』とした。景気が回復基調にあるとはいえ、中小企業にとってはまだまだ先が見通せない状況にある。中小企業も着実に成長するためには、まさに今が行動を起こす時だと感じている。本会は、これまで互いの経営資源を補完し共同の力を発揮しあう中小企業連携組織の活用こそが重要であるとの認識から、中小企業連携組織対策事業を重点的に推進してきたところである。本年は、それに加え山梨県の6次産業化推進に向けた育成支援事業やものづくり事業を積極的に推進して、中小企業の発展を目指して力強く支援を行う。」と述べた。

その後、各種関係団体等の来賓紹介、祝電披露がされ、細田幸次副会長の閉式のことばで式典は終了した。

式典に続き料理を囲んでの交流会が、石原行彦副会長のあいさつで開会し、宮島雅展甲府市長の祝辞、松橋勝美山梨県商工会連合会副会長の乾杯で賑やかに開始され、組合関係者相互の連携と関係機関との交流・懇親が行われた。参加者は新たな年に向けての熱意を見せる中で、和やかに交流会は進み、小俣力也商工中金甲府支店長の万歳三唱、栗山直樹副会長の閉会のことばで、2時間余りの新春交流会を閉じた。

# 2014 中小企業団体新春交流会を開催

## 日本経済回復の機運を牽引 ～日本選手の活躍に期待～

ibuki

息吹

二月の年中行事というと、まず最初に節分、立春を思い浮かべますが、今年は四年に一度のビッグイベントである冬季オリンピックがソチで二月六日に開幕します。

冬季オリンピックは一九二四年にシャモニー・モンブランで第一回が開催され、今回が第二十二回大会になります。日本で開催されたのは、一九七二年の札幌オリンピックで、スキージャンプ七〇m級（現在のノーマルヒル）では、笠谷幸生が金、金野昭次が銀、青地清一が銅と表彰台を独占し、日本のジャンプ陣は「日の丸飛行隊」と呼ばれるようになりました。

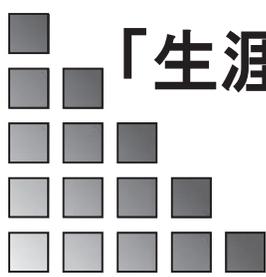
そして、一九九八年には長野オリンピックが開催され、ラージヒルの団体、個人で金メダルを獲得した日の丸飛行隊をはじめとする日本選手が大活躍し、金五、銀一、銅四の合計一〇個のメダルを獲得しました。

オリンピックの開催は、見る者に勇気と感動を与えるため、高画質テレビなどの開発が行われ、その販売が急増するなど消費経済を押し上げる効果があります。また、道路、鉄道、通信網などのインフラの整備や、競技場、宿泊施設などのハード整備を伴ったため、建設業をはじめとする地元経済への貢献は多大であります。一方、終了後は一転し、公共工事の減少による企業倒産の増加などの負の側面も有しています。

日本経済が上向いている中開催される今回のオリンピックに向け、家電業界は4Kテレビの販売に力を入れています。また、メダル獲得のためには開発されたウェアや用具がやがて市場に投入されるようになるでしょう。

間もなく開幕するソチで日本選手が活躍することが、消費経済の好転、日本経済回復の機運を牽引することを期待したいと思います。

人生  
100年  
時代



### 「生涯現役社会に向けた雇用制度」

情報 BOX

### の導入を検討してみませんか？

高年齢者の知識・経験を企業の活性化に。

少子高齢化の進展により日本の労働力人口が大幅に減少することが懸念される中、企業にとって知識や技能を持った“人財”の確保が一層必要となります。定年の廃止、定年後の継続雇用等、健康で意欲と能力がある限り働き続けることができる雇用制度を導入することにより、社員のモチベーションを高く保つことができ、社内の活性化につながることを期待されます。

また、ベテラン社員が永年の勤務で培った知識、経験、技能、人脈等を伝承することにより、将来の会社の担い手となる若手社員を育てることができ、今後の企業環境の変化に対応することができると考えます。生涯現役で活躍し続けられる社会環境を企業が整えることが重要と考えます。

KofuSeika CO.,LTD.

甲府青果株式会社

所在地：甲府市西下条町 1167-35  
 創業：明治39年4月1日  
 業種：青果物卸売業（販売・加工）  
 従業員数：180人  
 資本金：2,000万円

経験やノウハウ、技術等を若い世代に引き継ぐため、健康である限り、年齢に関わらず働ける制度を確立

#### モデル事業の取組内容・目標

- ・希望者全員 65 歳雇用後、70 歳以降まで働ける雇用制度導入のための検討
- ・従業員意識調査の実施によるニーズ把握
- ・体力低下に対応すべく、職種に合わせた多様な就労形態の社内制度化の検討



代表取締役社長  
遠藤 勝巳



甲府青果株式会社 社屋



食品放射能測定システム

「地域別生涯現役社会実現モデル事業」（厚生労働省委託事業）に取り組んでいます。



公益財団法人産業雇用安定センター

<http://www.sangyokoyo.or.jp/> TEL 03-5627-3600

### ●山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

本県12月の景況は、全業種のDI値が、売上高+18(前年同月比+42)、収益状況-18(前年同月比+10)、景況感±0(前年同月比+26)となっており、前年同月比は先月に引き続き全ての項目で大きく改善した。業種別のDI値では製造業で、売上高+10(前年同月比+50)、収益状況は-10(前年同月比+30)、景況感-5(前年同月比+30)。非製造業では、売上高+23(前年同月比+36)、収益状況-23(前年同月比-3)、景況感+3(前年同月比+23)となった。

前月比では、製造業の収益状況は不変であったが、売上高は5ポイント、景況感は15ポイントと悪化した。非製造業では、売上高が6ポイント改善したが、収益状況が20ポイント、景況感も4ポイントとDI値が悪化した。

情報連絡員による県内の12月の業況報告は、景気改善が建設関連業界から多業種に波及している報告が見られた。しかし、仕事量の急増から建設業だけでなく関連業種も人手不足等が深刻化している。

製造業では、消費税増税に伴う駆け込み需要と季節要因により全体的に景気改善が見られるものの業種間や企業間に回復の格差が拡大している。

また、原材料や燃料等のコスト増加分の転嫁難による収益の悪化の報告が見られた。

非製造業でも、家電製品や太陽光発電等の駆け込み需要による消費拡大の報告があった。

また、消費税増税前の駆け込み需要の拡大から運送業務も活発となり配送車や人手不足の報告も寄せられた。

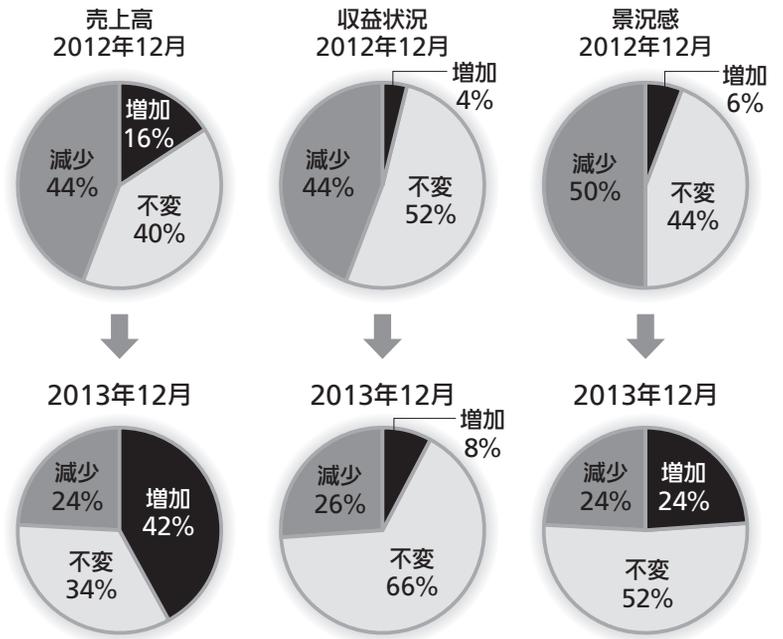
住宅以外の耐久消費財等への消費マインドも消費税率引上げを前に高まっているが、食料品等の最寄品は、原材料費の上昇に伴う値上げと消費者の低価格志向により売上増に繋がっておらず景況感はそれほど上昇していない。

# 業界の動き

平成25年12月分



データから見た業界の動き(平成25年12月分)



## トピックス

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測(売上高・原材料等経費・資金繰りなど)についてコメントを求めた。

### 業界から一言

- 製造業
  - 食料品(水産物加工)／お歳暮関係の不振により前年比92%。しかし、ホテルやレストラン向けのおせち用生食材は好調。原材料・燃料費の高騰から採算は厳しい。
  - 食料品(洋菓子製造)／年末商戦が盛り上がりならず、自社製品やOEMとも前年を維持するのが精一杯の状態。クリスマスケーキは前年並。
  - 食料品(菓子)／原料価格の値上がりに伴い、コストアップは避けられない。今後、卸価格の値上げができるかを懸念。

●繊維・同製品(アパレル)／順調に推移しており稼働状況も良い。

●木材・木製品製造／消費税の駆け込み需要の影響で、12月の仕事量は増加。

●印刷／平成25年は紙の値上げが2回あった。消費税増税分と紙の値上げ分が価格転嫁できるかを懸念。

●窯業・土石(砂利)／昨年に比べ公共事業が増加したため、砂利の出荷量が増加。

●鉄鋼・金属(1)／4月からの消費税値上げに伴い生産量が少し増えてきているが、4月以降の販売価格や生産量を懸念。

●鉄鋼・金属(2)／前年と比較すると悪化。一部持ち直しの話も聞くが現実の受注状況は厳しい。

●一般機器(1)／I-T関係や医療機器等は忙しいが、工作機械関係は良いとは言えない。

●電気機器／金型は依然受注

が減少。切削加工やプレス業界の自動車関連は増加、電子機器関連の航空機産業や医療器具も増加傾向。

### ■非製造業

●卸売(紙製品)／問屋筋は仕入れ競争に巻き込まれ利益が圧迫されている。

●卸売(宝飾)／前年と比較してやや好転。増税後の消費者の購買力低下を懸念。

●小売(青果)／価格面で高値が続いており一般消費動向が気になる。

●小売(食肉)／ギフト関係は、偽装表示の影響から加工品は減少、生肉は好調。

●小売(水産物)／年末商戦は予想以上に販売不振。

●商店街／景気回復感はない。飲食店では忘年会が少なく新年会の予約も少ない。

●不動産取引／宅地の売れ行きは低迷しているが、中古住宅や建売住宅は購入者が

多い。宿泊業／個人消費の伸びは不振。消費税増税分を宿泊代に価格転嫁できるか懸念。

●警備業／公共工事における交通誘導の労働単価は、依然として押さえられている。中小の建設会社の工事受注が鈍化。また、電柱の立替工事が本格化し昨年を大幅に上回る発注量のため警備業務の人員不足が発生している。

●建設業(総合)／平成24年度の補正予算に加え平成25年度予算による公共工事の大幅に発注されている状況が続いており、業界の景況感に好転。

●建設業(住宅関連)／職人数・資材の不足が現れてきた。

●建設業(型枠)／人手不足による人件費の高騰や円安などによる材料高騰にもかかわらず、経営が圧迫されている。

●建設業(鉄橋)／発注される物件は、首都圏を中心に増加傾向にあるが、材料や人

材の不足により未着工の物件が多発している。一方、県内は発注される物件が少なく、しかし来年度以降は市町村の大型物件の発注が見込まれるため、業況の景気回復に期待。

●設備工事(電気工事)／年末の電気工事が増加、年度末へ向けて人手不足を懸念。

●設備工事(管設備)／平成25年度の公共工事は、設備の入替や修繕工事等が増加。

●運輸(タクシー)／特定地域のタクシニーを減する事業適正化法により1台減車となったため、売上は減少。今後、燃料の高騰や労働時間の適正化、消費税増税等、運輸業界は厳しくなる予測。

●運輸(バス)／人員確保に苦慮。

●運輸(トラック)／例年に比べ年末の荷動きが活発で配送車が不足。今後、消費税増税の駆け込み需要による配送車や人手不足を懸念。

## 業界の声

●山梨県漬物協同組合

理事長 佐久間一壽氏

### 業界の現況は？

地域の野菜を使用した漬物は、「食の原点、最も古い加工品」と言われています。中でも山梨の特産品の一つでもある甲州小梅を、カリカリの歯ごたえに漬けた小梅漬は他にはまねできない漬物と言われています。

経済の発展に伴い食生活は大きな変化を遂げ、日本古来の漬物にも海外原料や製品が入ってくるようになったと同時に、平成12年4月より小梅等の原料原産国表示、14年には更なる全品目原料原産国表示が施行され、大きな流通変化の波を味わいました。こうした中で、伝統食品産業である本業界もその変化に巧みに対応、成長を成し遂げられました。

しかし、平成24年8月札幌でおきた「白菜切り漬」で8名の方の命を奪う事件が発生、業界にとって大きな打撃を受け需要は急激に落ち込み、今現在も発生前の数字に至っていない状況です。

### 今後の展開は？

平成24年8月に起きた札幌の事件を踏まえ、業界全体として危機感を持ち、今年度より「漬物製造管理士」認定制度の導入を決め、試験を通し漬物産業界の経済的、社会的地位の向上を目指して、更なる価値を構築し技術の向上を図っているところです。

また、昨年和食がユネスコの無形文化遺産に登録された事で、その膳を飾る漬物が注目を浴びることは間違いないと思っております。

これから、組合員一丸となり安全で美味しい漬物を供給し社会に貢献し、次の時代へのステップアップを目指していきたいと考えています。



甲州小梅

# 「山梨しんきん ビジネスマッチング2013」開催

## ACTIVE KUMIAI

### 山梨信用金庫



商談風景

山梨信用金庫（五味節夫理事長）は、平成25年11月20日木曜日、アイメッセ山梨で「山梨しんきんビジネスマッチング2013」を開催した。このビジネスマッチングは、取引先に「金融面のお手伝い」の他「新規取引先の開拓」「新たな仕入れ先の開拓」「異業種間連携」等、ビジネスに関する直接的な支援を目的として開催し、今回が2回目となる。

ビジネスマッチングの開催にあたっては、商談がスムーズに実施できるよう事前に「事業紹介ガイドブック」の作成を行い参加者に配付するため、参加企業の募集は、平成25年7月より山梨信用金庫取引先に対し、「自社PR」「特に売りたい商品」「こだわりの商品」「提携したい内容」「仕入れたい商品」「設備・認証・資格」「写真」等の情報収集を行い、出展先と「事業紹介ガイドブック」の掲載企業の募集を行った。なお、開催当日は、参加者が各社との商談を有効に行えるよう、ガイドブックを参考にあらかじめ予約する商談方式で行われた。

本年度は、長野信用金庫、しずおか信用金庫、三島信用金庫も参加し、ガイドブックへの掲載先は375社、内69社が出展した。

マッチング成果は、当日502件の商談が行われ、そのうち18件が成約、211件が現在も商談中となっている。

今後、山梨信用金庫では、「本事業の規模、質共に拡大し、取引先の販路拡大につなげたい。」としている。



オープニングセレモニー風景

## TOPICS

### 企業組合みのぶゆばの里・とよおか 南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館

# 「がんばる中小企業・ 小規模事業者300社」に 県内から2組合が選ばれる！

## ACTIVE KUMIAI

企業組合みのぶゆばの里・とよおか（井出正博理事長）及び南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館（新津なお志理事長）の2組合は、中小企業庁が推薦する「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選出された。

これは、高度な技術や革新的なビジネスモデル、新しい価値や市場の創出、地域貢献または地域経済に波及する取組を行う組合、企業等を選定するもので、今回本県から特に他の模範となる事業活動を展開している次の2組合が選ばれた。

企業組合みのぶゆばの里・とよおかは、身延町の生ゆばは身延山久遠寺の僧侶たちの貴重なたんばく源として古くから食されておき、今日では精進料理に欠かせない食材となっている。その伝承と地域の活性化のため、平成15年にゆば伝承の拠点となる施設整備を行うとともに企業組合を設立し、生ゆばの製造や豆乳を利用した関連製品を開発し製品化している。また、生産者の登録により地元産の農産物・加工品の販売や食事処「清流」では、ゆば料理を提供し特産品としてのゆばをPRするなど地域貢献度が高い。

また、南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館は、地産地消の普及を目的に、市場に出荷できない農産物を有効活用するため、地域農産物の加工販売（ジャム、製菓、味噌等）を中心に、地元学校給食への食材の提供や、小・中・学一般を対象とした体験学習などを行っている。特に、組合員のほとんどは農業者であり、生産から始まり加工製造し、自ら運営する指定管理者施設（ほたるみ館、まちの駅・くしがた）で販売を行っているなど、組合員の意識も高く、販路拡大による売上高も年々拡大し、地域貢献も高いことなどが選出のポイントとなった。



外観（みのぶゆばの里）

なお、全国から選出された300組合等に対して3月に表彰式と併せて、受章事業者を集めた展示会が行われ、代表者に表彰状が贈られるとともに、組合・企業等の取組を幅広く周知する機会が与えられる。



体験教室の様子（ほたるみ館）

## TOPICS

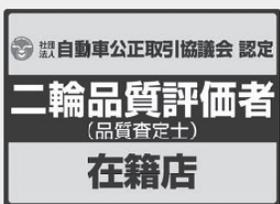
### 山梨県オートバイ事業協同組合

# 二輪車の購入は 二輪品質評価者の在籍店で！！

## ACTIVE KUMIAI

山梨県オートバイ事業協同組合（西谷理事長は11月15日、甲府市川田町の山梨県立青少年センターの研修室において、二輪品質評価者（品質査定士）の資格取得のための講習会を開催した。本講習会は、自動車公正取引協議会会員店を対象に年1回開催しており、当日は県内の二輪販売店のほか、東京都神奈川県、長野県から28店30名の参加があった。

講師は二輪品質評価者のトレーナーである吉田専務理事が担当し、西谷理事長が進行のサポートを行った。講習会では、二輪車を販売する際に掲示するプライスカードの適正な表示方法や品質評価と品質査定の手続きについての説明や品質、キャンセル、契約に関するトラブル事例などが紹介され、参加者は熱心に聞き入っていた。受講を終えた参加者には、その資格証明として認定証と二輪品質評価者在籍店ステッカーが交付された。



二輪品質評価者在籍店ステッカー

組合では、二輪車を安心して購入してもらうための環境を整備するため、今後も消費者の視点に立った取り組みを実施していくことで、二輪車の普及や業界の信頼向上に努めていく。



認定証

# 経営者に聞きました!

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営実態や求めている人材等について直接聞き取ることで、学生と企業の相互理解を促進し、雇用のミスマッチ等を解消することを目的としております。

## 学生企業レポート 第16回

▶ 第16回目となる今回は、甲府市立甲府商科専門学校 会計情報科 1年 雨宮聖香さんが、株式会社 エフエム甲府 常務取締役 川崎博氏 を取材しました。



経営者

株式会社 エフエム甲府  
常務取締役  
川崎 博氏

### コミュニケーションは キャッチボール

学生

甲府市立甲府商科専門学校  
会計情報科  
1年 雨宮 聖香さん



▶ 学生  
御社を山梨学院大学内に設立した理由をお聞かせください。

▶ 経営者  
放送局には放送対象地域があり、エフエム甲府は山梨県全域ではなく、甲府地域が対象になっています。つまり放送する内容も、それぞれの放送対象地域に合った情報になるわけです。エフエム甲府が放送する情報の多くがある大学は、設置場所として最適な場所なのです。近年、多様化されたメディア社会で、特に最近の若い人達がラジオを聴くことはあまりないでしょう。若者にも聴いてもらうためには、まず、彼らがどんな情報に興味があるのかを知らなければなりません。大学のように多くの若者が集まる場所では、若者向けの色々な情報が入ってきます。それも社屋をここにした理由です。

▶ 学生  
エフエム甲府を設立してからの、ご苦労などについてお聞かせください。またそれをどのようにして解決してきましたか。

▶ 経営者  
これといって大きな問題はありませんでしたが、困ったことなら人があまりにも少なくなってしまったことですね。もともと少人数で構成されていますので、やはり一人でも抜けてしまうとその人が担当していたことを残った人だけで分担してフォローしなければならなくなってしまい、とても大変です。放送という仕事が好きではないのに、給料や特に理由もなく何となく入社を決めた人は、辛いとか、もうしたくないなど弱音を吐いてすぐに辞めてしまうんですね。そういう人が多いと、ほとんど人が少なくなってしまいうんですね。逆に好きで入社してきた人は、そう簡単に辞めたりしませんし、大変なことがあっても楽しんで仕事をしています。そのお陰で、人が少ないという状況も乗り越えられました。  
こういうことにならないためにも、入社する前に、自分はその仕事に興味や関心があるのか、その仕事が好きなのかをしっかりと考えること

が大切です。興味も無く好きでもない仕事をずっと続けることは、とても難しいですからね。そのために、第三者に自分にこの仕事は合っているかと聞いてみることも良いです。冷静な意見が聞け、考え方が変わるかもしれません。就職してすぐに辞めてしまうことのないように、そういう確認をみなさんにして欲しいですね。

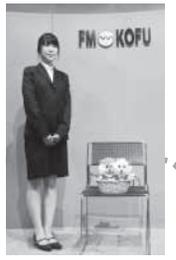
▶ 学生  
放送という仕事に携わって良かったと思うことはありますか。

▶ 経営者  
とにかくたくさんありますよ。たとえば、担当している番組をたった一人だけしか聴いていなくても、地域の放送局というものはその方のために番組を続けます。そして番組宛てに、その方からハガキなどの反応があるとすごく嬉しいものです。そうすると、次も頑張ろうと思えます。  
他には、前に病院で大きな手術があって、そこで輸血する血液が足りなくなってしまったときがあったんです。しかも、その血液型が世界でも珍しい「RH-(マイナス)AB型」でした。そこでラジオでその血液型の人に血液の提供を募って欲しいと病院から頼まれ、早速放送しました。すると県内にも少ししかいないその血液型の半数以上の方が、病院へ駆けつけてくださったんです。その病院まで遠い方にもいたのに、患者さんのためにわざわざ来てくださったんです。地域の放送でここまで人が集ってくれることは、ほとんどありません。偶然ラジオを聴いてくれた方が情報を拡散して、そのことを知った「RH-(マイナス)AB型」の方たちが集まってくださったんです。そのときに、放送の素晴らしさこの仕事をしていて良かった、と思いましたね。

取材を終えて...  
放送というお仕事の経験と豊富な人生経験もありなので、川崎常務のお話はとてもわかりやすかったです。放送について素人の私が理解しやすいように、例え話など工夫して回答してくださいました。いよいよ就職活動の私にとって、聞く立場に心配りをするコミュニケーションの大切さを体感できた取材でした。ありがとうございました。

▶ 学生  
エフエム甲府では、どんな人材を求めているのでしょうか。

▶ 経営者  
ラジオ放送局の仕事は声を扱う仕事なので、それを活かした色々な仕事をします。たとえば、通常の放送以外に地域のお祭りに参加したり、入学式や卒業式、その他さまざまなイベントの司会や音響などを担当します。さらには商品開発もしたり、とにかく幅広く色々なことをします。ラジオとこれらの仕事は大体半々くらいですね。ですから、こちらが求める人材は、やる気があって、放送という仕事が好きで、何でもできるオールマイティな人です。そして話すことが仕事の放送局で一番大切なことは、やはりコミュニケーション能力がきちんとある人ですね。コミュニケーションがきちんとできると言っても、質問されたことにただ答えられればいいというわけではありません。コミュニケーションはキャッチボールです。相手が何を伝えたいのか、何を分かって欲しいのかをしっかりと聴いて、理解してあげられることが大切なのです。たとえば、若い人が老人や小さなお子さんとキャッチボールをするとき、自分と同世代の仲間と同じように投げたりはしません。怪我をしないように、力量や身体の違いを考えて力を加減したり距離を縮めたりして、相手に合わせて対応しますよね。コミュニケーションとはこういうことなのです。色々な仕事をやる上でコミュニケーションをとることはとても大切なことです。ですから、コミュニケーションのキャッチボールがきちんと出来る人、それが私たちエフエム甲府が求めている人材です。



## 学生企業レポート 第17回

▶ 第17回目となる今回は、山梨県立大学 国際政策学部 国際コミュニケーション 学科3年 佐々木冠菜さんが、鈴木製菓 株式会社 代表取締役社長 鈴木浩文氏 を取材しました。



学生

山梨県立大学  
国際政策学部 国際コミュニケーション学科  
3年 佐々木 冠菜さん

### 一期一会

経営者

鈴木製菓 株式会社  
代表取締役社長  
鈴木 浩文氏



▶ 学生  
会社概要、事業内容について教えてください。

▶ 経営者  
鈴木製菓株式会社は、曾祖父の代から製菓業を営み、先々が昭和10年5月1日に甲府市湯田にて開業しました。先代が継承後の昭和59年10月株式会社に改組し、現在の山梨県食品工業団地内に移転しました。平成17年12月、先代の死去のため私が後継として代表者になりました。代表商品「栗しぐれ」は1日に3トン生産し、全国に販売、40年の間愛され続けているロングセラー商品です。それ以外にも、「京桃山・どら焼き」など半生和菓子の製造・生産を事業内容としています。

▶ 学生  
商品についてご紹介ください。

▶ 経営者  
「栗しぐれ」をはじめとする半生和菓子を主力商品として生産しています。当社は鉛から自社で製造し、半生であることで生菓子よりも高い安全性を特色としています。また、上白鉛を焼き上げ、栗の様なまろやかな味わいの特徴とする代表商品「栗しぐれ」が40年間のロングセラーとなった理由は「個性がないのが個性」という「オーソドックスでシンプルな味の良さ」を大切にしてきたからだと考えています。個装にした商品です

ので、家族や大人数で楽しめるという点も人気の理由だと思います。一つ食べると、ついつい次も手が出てしまうんですね。

▶ 学生  
御社が求める人材とは。

▶ 経営者  
一番は「コミュニケーション能力」のある人ですね。いくら仕事ができても、一人ではなにもできません。周りとのコミュニケーションをとり、チームワークで働くことが大切です。私だって周りの方々に助けられて社長をすることができています。また、どんな仕事でも、続けようと覚悟し、仕事を楽しむこと・好きになる努力ができるということも大事です。世の中って理不尽で、自分のしたい仕事につけることなんてめったにありません

取材を終えて...  
就職活動で最初に中小企業に注目する学生は少ないと思います。私も、今回鈴木社長とお話させていただいて、「中小企業の良さ」について考えることができました。アットホームな環境、雇用者と従業員の近い距離感、やりがいなど実際にお話を聞く機会と自分の目で見たことで、中小企業についてもっと研究していきたいなと思っています。また、社長さんとお話するということで、すごく緊張していたのですが、鈴木社長の優しい人柄やジョークのおかげで緊張がほぐれ取材時間をオーバーしてしまいました。社会人の方、特に経営者の立場からのお話を聞いたことで「雇用する側」も人材の育成や確保には苦労されているということ、働くことの意義などを感じました。就活生の私にとって、鈴木社長のお話はこれからの就活の「緊張」もほぐしていただける良い機会となりました。今回の取材のためにお時間をいただいた鈴木社長、本当に貴重な機会をありがとうございました。

よ。ほとんどの人は、そうなんじゃないかな。そんな中でも、与えられた場所や業務に前向きな姿勢で一生懸命取り組める人には仕事を任せたいと思います。少し余談になりますが、先日、大学生と経営者との交流会がありました。みんな、私たちの話を熱心に聞いてくれてすごく楽しかったですね。大学生たちも私たちも始まる前まではお互い初めての人に会うので、緊張していたと思うんです。でも実は、コミュニケーション能力は、初めての人と会う時に一番力がつくらしいんですよ。だって、初めての人に気に入ってもらうために、自分の魅力を全力でアピールするんですからね。だから怖がらないでいろんな「初めての人」に会いに行ってください。その経験を重ねる事がコミュニケーション能力や人間力を高める一番のトレーニングだと思います。



# 山梨県の労働事情

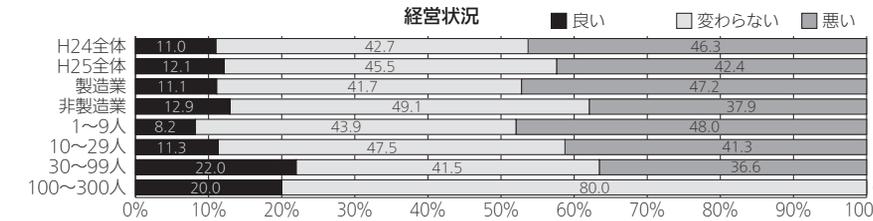
— 平成25年度中小企業労働事情実態調査山梨県版報告より抜粋 —

## 1. 調査概要

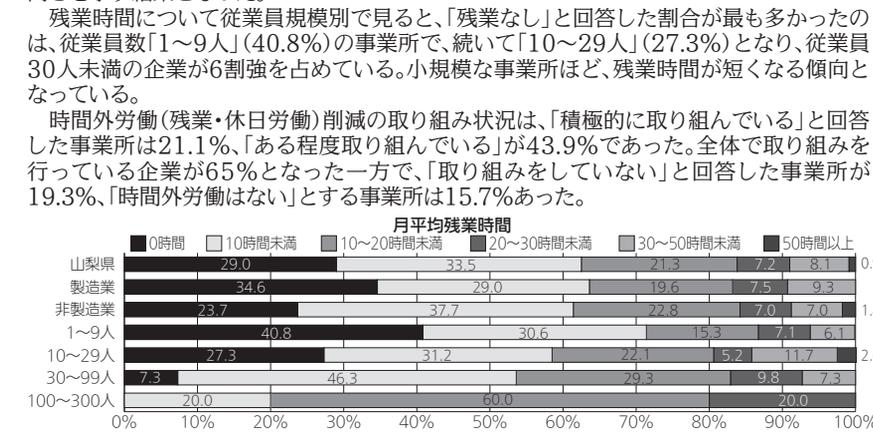
- (1)調査目的  
本調査は、中小企業における労働事情を的確に把握し、適正な中小企業労働対策の樹立並びに時宜を得た中央会の雇用・労働対策事業の推進に資することを目的とし、各都道府県中央会において毎年実施している。
- (2)調査の方法  
本会において、全国中小企業団体中央会が作成した「中小企業労働事情実態調査票」を調査対象事業所に配布し、回答を求めた。
- (3)調査時点  
平成25年7月1日
- (4)調査対象事業所数  
従業員規模300人未満の民営事業所（農業、水産を除く）600事業所  
※製造業：329事業所、非製造業：271事業所
- (5)調査対象産業  
i. 製造業 ①食品 ②繊維工業 ③木材・木製品 ④印刷・同関連 ⑤窯業・土石  
⑥化学工業 ⑦金属、同製品 ⑧機械器具 ⑨その他  
ii. 非製造業 ①情報通信業 ②運輸業 ③建設業 ④卸売業 ⑤小売業  
⑥サービス業
- (6)調査回収状況  
有効回答数：226事業所（製造業：110事業所、非製造業：116事業所）  
回答率：37.6%
- (7)調査内容  
i. 経営について ii. 従業員（パートタイム労働者を除く）の労働時間について  
iii. 従業員の有給休暇について iv. 新規学卒者の採用について  
v. 高齢者の雇用について vi. 賃金改定について

## 2. 調査結果

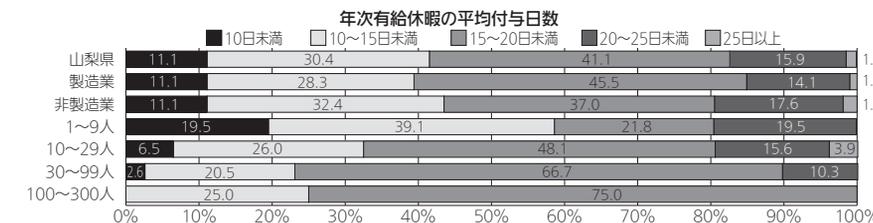
(1)経営状況の改善も、原材料・仕入品の価格上昇が懸念材料  
経営状況は、「良い」が12.1%、「変わらない」が45.5%、「悪い」が42.4%となった。前回（平成24年度）調査に比べ、「良い」が1.1ポイント増、「変わらない」が2.8ポイント増、「悪い」が1.0ポイント減となり、昨年に比べ、経営状況は改善傾向にあるとみられる。  
経営上の障害は、「販売不振・受注の減少」（47.6%）が最も多く、ついで、「同業他社との競争激化」（44%）、「原材料・仕入品の高騰」（39.1%）と上位3項目は昨年と同様の順となっている。前回（平成24年度）調査に比べ、「原材料・仕入品の高騰」は10ポイント増加しており、原材料・仕入品の価格上昇が、今後の経営環境へ及ぼす影響が懸念される。  
経営上の強みは、前回に引き続き「製品の品質・精度の高さ」（29%）がトップとなった。続いて「顧客への納品・サービスの速さ」（28.5%）が、昨年2位の「技術力・製品開発力」（25.2%）を抜き、上位に浮上する結果となり、今回の調査では、技術力よりサービスを強みとする事業所の割合が上回る結果となった。



(2)「残業なし」は、従業員30人未満の企業で6割強  
従業員1人あたりの週所定労働時間は、業種全体では「40時間」（45.5%）と「38時間超～40時間未満」（25.9%）で全体の7割を超えた。また、業種別で見ても40時間以内の割合は、製造業（88.8%）・非製造業（80.5%）ともに8割を超えており、週所定労働時間への意識の高さを示す結果となった。  
残業時間について従業員規模別で見ると、「残業なし」と回答した割合が最も多かったのは、従業員数「1~9人」（40.8%）の事業所で、続いて「10~29人」（27.3%）となり、従業員30人未満の企業が6割強を占めている。小規模な事業所ほど、残業時間が短くなる傾向となっている。  
時間外労働（残業・休日労働）削減の取り組み状況は、「積極的に取り組んでいる」と回答した事業所は21.1%、「ある程度取り組んでいる」が43.9%であった。全体で取り組みを行っている企業が65%となった一方で、「取り組みをしていない」と回答した事業所が19.3%、「時間外労働はない」とする事業所は15.7%あった。



(3)山梨県の有給休暇平均付与日数は14.84日  
従業員1人当たりの年次有給休暇の平均付与日数は、「15~20日未満」（41.1%）、「10~15日未満」（30.4%）、「20~25日未満」（15.9%）と前回調査と同様の結果となった。  
また、山梨県全体における年次有給休暇の平均付与日数も14.84日と前年並みとなり、全国平均の15.62日には及ばなかった。  
年次有給休暇の平均取得日数は、「5~10日未満」（45.4%）がトップで、「5日未満」（23.7%）、「10~15日未満」（25.6%）、「15~20日未満」（2.9%）、「20日以上」（2.4%）の順となっている。また、山梨県全体における年次有給休暇の平均取得日数は、7.32日となっており、わずかであるが、全国平均の7.29日を上回る結果となっている。

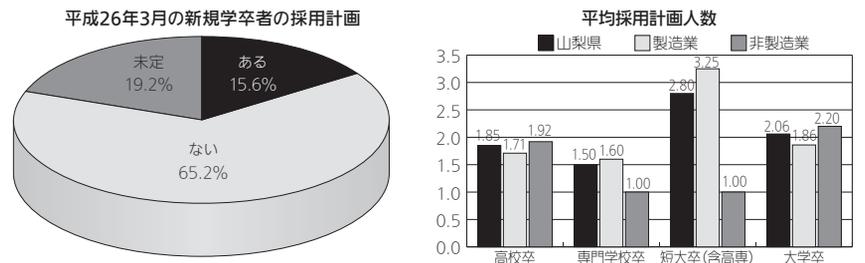


### (4)新規学卒者の充足率は9割超え、採用計画は「ある」が増加

平成25年3月新規学卒者（既卒者、中途採用者を除く）の1人当たりの平均初任給額（平成25年6月支給額）では、前回（平成24年度）調査に比べ、「高校卒」事務系と「専門学校」技術系で初任給が上昇した以外は、すべてで初任給は下がっている。  
山梨県における新規学卒者の採用充足状況は、技術系91.5%・事務系95.8%となっており、充足率全体で9割を超える高い数値となっている。  
平成26年3月の新規学卒者の採用計画は、「ある」と回答した事業所は15.6%となり、昨年に比べ5.4ポイント増加している。

学卒	職種系統	採用計画人数	採用実績人数	採用充足率(%)
山梨県	技術系	59	54	91.5
	事務系	24	23	95.8
高校卒	技術系	35	33	94.3
	事務系	3	3	100.0
専門学校卒	技術系	9	9	100.0
	事務系	6	6	100.0
短大(含高専)卒	技術系	2	1	50.0
	事務系	-	-	-
大学卒	技術系	13	11	84.6
	事務系	15	14	93.3

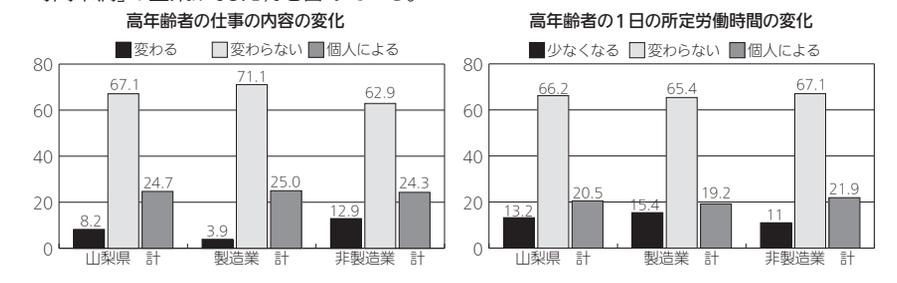
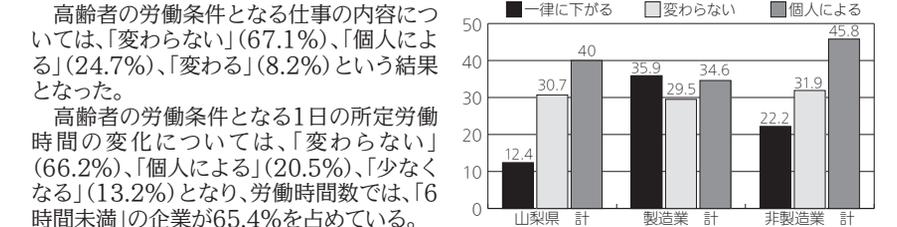
平成26年3月新規学卒者の採用計画



### (5)高齢者の積極的な雇用、全体の7割を超える

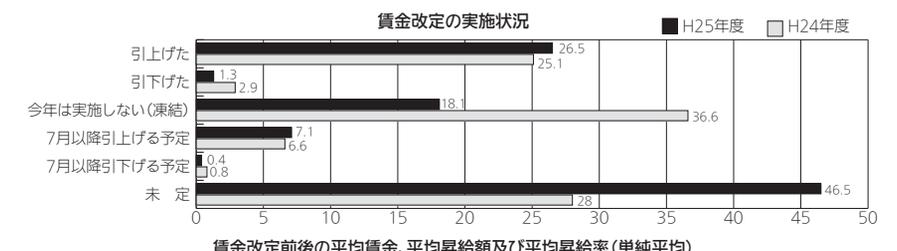
高齢者（60歳以上）の雇用状況は、「雇用している」と70.7%、「雇用していない」と回答した事業所は29.3%であった。  
高齢者を採用する経緯については、「自社従業員を継続雇用」（96.2%）、「ハローワークを通じた採用」、「その他」がともに9.42%と、この結果から継続雇用が占める割合が大きいことが分かる。

高齢者の労働条件となる賃金の変化については、「個人による」（40.0%）、「変わらない」（30.7%）、「一律に下がる」（12.4%）の順となった。高齢者の採用経緯でも継続雇用の割合が大きいことから、賃金面で配慮する事業所の傾向が見受けられる。  
高齢者の労働条件となる仕事の内容については、「変わらない」（67.1%）、「個人による」（24.7%）、「変わる」（8.2%）という結果となった。  
高齢者の労働条件となる1日の所定労働時間の変化については、「変わらない」（66.2%）、「個人による」（20.5%）、「少なくとも」（13.2%）となり、労働時間数では、「6時間未満」の企業が65.4%を占めている。



### (6)平均昇給率が2.08%、前年調査を上回る

平成25年1月1日から7月1日までの間の賃金改定の実施状況は「引上げた」（26.5%）、「引下げた」（1.3%）、「今年は実施しない（凍結）」（18.1%）、「7月以降引上げる予定」（7.1%）、「7月以降引下げる予定」（0.4%）、「未定」（46.5%）という結果になっている。  
今回の調査で賃金改定を実施した94事業所の平均となるが、改定後の平均賃金は269,003円、平均昇給額は5,493円、平均昇給率は2.08%となっている。前回調査（前年同期）との比較では、平均賃金で11,116円、平均昇給額が3,645円、平均昇給率は1.36%を上回る結果となった。



区分	改定前平均賃金	改定後平均賃金	平均昇給額	平均昇給率
山梨県	263,510	269,003	5,493	2.08
製造業	258,215	264,026	5,811	2.25
非製造業	268,583	273,773	5,190	1.93

※この調査の詳細報告は、中央会ホームページに掲載しています。

# 若手従業員の早期離職を防止 若手従業員定着支援セミナーの開催



山梨県内における新規学卒者の3年以内の離職率は、長期的な景気の低迷や就職難にもかかわらず30%を超えるような状況となっている。時間やコストをかけて教育をしても早期離職をされては、次世代を担う若手を育てることができず、企業の成長を妨げてしまうこととなる。

このような中、山梨県中小企業団体中央会では県内中小企業に雇用されている若手従業員の早期離職を防ぐことを目的に、1月22日、23日に若手従業員(30歳未満)定着支援セミナーを開催した。

このセミナーは、若手従業員が企業に定着するために必要な知識を習得してもらうため「クレーム対応基礎」「リーダーシップ養成」の2テーマに分けて開催され、それぞれのセミナーに30名以上の若手従業員が参加した。

山梨県中小企業団体中央会では、これらの職場定着セミナーについて、来年度も次の内容で実施する事を予定している。

**問い合わせ先** 山梨県中小企業団体中央会 労働課 TEL: 055-237-3215

## 1. 管理者を対象としたセミナー

内容▶「人材確保」「職場定着」「人材育成」「指導力育成」等

## 2. 若手従業員を対象としたセミナー

### (1) 入社1年目の従業員を対象としたセミナー

内容▶「入社直後」「入社3ヶ月」「入社6ヶ月」「入社12ヶ月」

### (2) 30歳未満の入社1~3年目 従業員

内容▶「クレーム対応」「リーダーシップ養成」等

### (3) 入社前従業員研修

内容▶「マナー研修」等

中小企業団体中央会の会員組合等の皆様へ

## 消費税増税に伴う 表示方法について

いよいよ4月1日から消費税率8%がスタートします。  
消費税の表示方法はお決まりですか?

### I. 消費税の表示方法について

#### ケース1 対消費者取引の組合

■価格表示方法を統一して、お客様の混乱を回避しましょう!

例1) 本体価格(税込価格)

例2) 本体価格 + 消費税

#### ケース2 事業者間取引の組合

■取引先に消費税の負担を明確にすることによって消費税の転嫁を促しましょう!

例1) 取引先に「税抜価格」で交渉し、「税抜価格」での取引価格を決定

例2) 見積書や請求書などの消費税額の表示を別枠にした様式に統一

### II. 表示カルテルってどうやったらいいの?

ステップ1  
組合で情報収集して、  
どんな表示がいいか組合員  
みんなで話し合いましょう。

ステップ2  
執行部を理事会で決議し、  
組合員に情報提供をしましょう。

ステップ3  
表示カルテルを実施することを  
総会(総代会)で決議しましょう。

ステップ4  
組合員が結果して、  
決まった表示方法を  
共同遵守しましょう。

**ご相談先** 「表示カルテル」や「転嫁カルテル」についてのご相談は、最寄りの中小企業団体中央会の「消費税転嫁対策相談窓口」にご相談ください。

~ 全国中央会では、「中小企業組合等のための消費税転嫁対策の手引き」を作成しています。~

**全国中小企業団体中央会**

消費税の転嫁対策は万全ですか? 4月から消費税が引き上げられます。

# 専門家による無料相談受付中!!

本会では消費税率の引上げや制度改正等によって生じる課題や疑問について、専門家による個別相談を実施しています。

例えば、転嫁拒否(減額、買いたたき)された、組合で転嫁カルテル等を実施したい、商品の値札の表示方法など、組合や業種によって相談案件は様々考えられますので、些細なことでも構いませんのでご相談ください。

●お申し込みは、TEL055-237-3215 (連携支援観光課) までご連絡下さい。

## JFC 日本公庫 国民生活事業 からのご案内

日本政策金融公庫は、皆さまのための政策金融機関として、お役に立てるよう努めてまいります。

★小規模企業の皆さまへ★

### セーフティネット貸付

雇用の維持・拡大を図るなど一定の要件に該当する方は、利率が基準利率より引下げとなります。

★教育資金を必要とされる皆さまへ★

### 国の教育ローン

ご融資額 高校、短大、大学等に入学・在学するお子さまお1人につき300万円以内  
ご返済期間 15年以内(交通通児家庭、母子家庭または世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方は18年以内)  
お使用みち 今後1年間に必要となる費用(学校納付金、受験費用、入学のための住居費用など)

このほか、皆さまのご要望にお応えする様々な融資制度・サービスがございます。詳しくは甲府支店 国民生活事業までお問い合わせください!!

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2丁目26番2号  
TEL.055-224-5366(お申し込み相談)

## 「けんみん信組 ビジネスローン」

# 事業者向けローン

ご融資期間  
最長5年!!

ご融資金額  
50万円  
最高500万円!!

スピード  
審査

ご利用いただける方

- 原則として業歴2年以上の法人(協同組合は不可)および確定申告を行っている個人事業主
- 農林水産業の方も申込できます。(但し、業種によっては受付出来ない場合があります)
- アイフル株式会社の保証が得られる方  
※詳しくは、窓口または営業係までお気軽にご相談ください。

けんみんのグッドパートナー

## YKS 山梨県民信用組合

甲府市相生1丁目2-34 TEL055-228-5151  
http://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp

山梨中央銀行 www.yamanashibank.co.jp

あなたのビジネスを大きくアシストします。

## 山梨中銀 ビッグアシスト Neo



最大2億8千万円!

無担保でのお取扱い!

第三者保証人不要!

※審査の結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ

0120-201862

受付時間 月曜日~金曜日 9:00~17:00(ただし、祝日・12/31~1/3は除きます)

# 新採用職員紹介

平成25年12月から新たに  
嘱託職員1名を採用しました。  
よろしくお願ひします。



**安部 梢氏**

●やまなし6次産業化  
サポートセンター  
企画立案推進員



## 合同面接会参加企業募集中

平成26年 **2月14日(金)**  
13:30~15:30  
「アピオ甲府」(昭利町)

山梨県シルバー人材センター連合会では山梨労働局より委託を受けてシニアワークプログラム地域事業を実施し、55歳以上の高齢者の就職・就業支援をしています。  
平成25年度講習会修了者に対し、合同面接会を開催いたしますので、参加していただける企業は下記までご連絡をお願いします。



公益社団法人  
**山梨県シルバー人材センター連合会**  
〒400-0035 甲府市飯田3丁目3-28  
Tel.055-228-8383

# 女性経営者等と 女子学生との交流会を開催

山梨県中小企業団体中央会女性部会

12月17日(火)山梨県中小企業団体中央会女性部会(会長:深澤紗世子)は、山梨県立大学において、女性部会役員3名を含む女性経営者等11名と女子学生17名による交流会を開催した。

この交流会は、県内の経営者等が仕事をしていく上で必要だと考えている事について自らの事例なども含めて学生に伝えることにより、企業側と学生の相互理解を図る事を目的としており、10月に山梨県中小企業団体青年中央会が山梨学院大学学生と実施したのに続き今回が2回目の開催となった。



終始和やかな雰囲気で行われた

今回の交流会は「女性同士で気軽に話をしよう」をコンセプトに参加者を女性に限定し、ケーキなどの軽食を食べながらの開催としたため、終始和やかな様子で活発な意見交換等が行われた。

交流会後、経営者からは「学生が思った以上に仕事について真剣に考えていた」「女性限定のため、



ざっくばらんに意見交換が出来た」など前向きな意見が多く聞かれ、参加学生からも「家庭を持ちながら仕事を続ける事や女性ならではの視点で仕事をしていることが聞いて良かった」「女性経営者のバイタリティを感じた」など、女性経営者ならではの話を聞いたことに対する感想が多くあげられるなど、日常的な接点が少ない経営者と学生の距離を近づける場となった。

## 第19回 中小企業組合まつり開催!!

入場無料

テーマ **実践躬行** ~じっせんきゅうこう~

日時 平成26年**3月23日(日)** 午前9:00~

場所 **アイメッセ山梨**(甲府市大津町2192-8)

- 内容 ★ご当地グルメ大集合!
- ★地域産品活用!  
「農と食のマーケット」開催!
- ★お買い得品盛りだくさん!
- ★先着2014名様限定  
「来場者プレゼント」

その他にも、  
楽しいイベント  
盛りだくさん!  
是非、  
ご来場下さい!



同時開催

第13回

**介護健康フェアinこうふ**

主催 介護健康フェアinこうふ実行委員会  
甲府市介護サービス事業者連絡協議会

主催 山梨県中小企業団体中央会 TEL/055-237-3215 URL/http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/

## 編集後記

今年も早いもので1月が経過しました。会員の皆様は、組合の新年会も一段落し、3月決算の組合はいよいよ決算に向けて各種事業の取りまとめに入る時期ではないでしょうか?

決算、総会の準備は早めに取りかかることが大切です。取りまとめの中でわからないことがご

ざいましたら、本会の担当指導員までお気軽にご相談下さい。

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで  
TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216  
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp